

第130回 日本薬学会中国四国支部例会

— えひめの若手薬学系研究者の紹介と研究展望 —

日時：平成26年2月1日（土） 14：00～16：20

場所：松山大学薬学部（9号館）2階 920教室

主催：日本薬学会中国四国支部

講演会（参加費無料） <日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定 1単位>

奥山 聡（松山大学薬学部・助教）

「河内晩柑果皮含有成分の中樞神経系に及ぼす作用」

烏谷 竜哉（愛媛県立衛生環境研究所・科長）

「入浴施設におけるレジオネラ属菌汚染の把握を目的とした生菌迅速検査法の開発について」

高取 真吾（松山大学薬学部・特任講師）

「血管周囲神経の再構築による抗腫瘍効果の獲得」

田坂 祐一（愛媛大学医学部附属病院薬剤部・薬剤師）

「 $\alpha 7$ 型ニコチン性アセチルコリン受容体をターゲットとした新規潰瘍性大腸炎治療薬の検討」

中西 雅之（松山大学薬学部・准教授）

「病原性原生動物の糖鎖合成経路とその薬剤標的としての可能性」

懇親会：16:30～

会場：松山大学カルフォル

参加費：3,000円（当日、会場にて受付）

世話人代表：松山大学薬学部教授 薬学部長

松岡 一郎

連絡先：松山大学薬学部教授

天倉 吉章

〒790-8578 松山市文京町4-2

TEL: 089-925-7111

E-mail: amakura@cc.matsuyama-u.ac.jp